

Kボール野球仲間募る



硬式球と軟式球の特性を合わせて開発されたKボール

硬式と軟式の特性 生かした

南丹市園部町に、硬式球と軟式球の特性を合わせた「Kボール」を使う中学生野球チームがある。Kボールを専門に扱うチームは全国でわずか、府内でも2チームだけ。指導者は「ボールの良さを広く知ってもらいたい」、選手は仲間を増やして強くなりたいと、日々練習に励んでいる。

南丹の中学生チーム

Kボールは、約10年前に開発された。軟球と同じゴム製で、大きさ、重さが硬球と同じ。弾み方や打球感は両方の中間ほどで、硬式ヘスミズに移行できるとされる。関東などを中心に徐々に普及し始め、近年は軟球と併用するチームが増えている。

同町と京都市を拠点に活動する「京都K-Ballベースボールクラブ」(KBC)の分、体を使ったスイングが

技術の向上 無理なく



Kボールを使ってキャッチボールをする京都K-Ballベースボールクラブの選手たち(南丹市園部町竹井)

身に付くなど技術的な効果もみられるという。主将の脇坂優磨君(14)は「Kボールは優磨君(14)は「Kボールは優磨君(14)は「Kボールは優磨君(14)は」

鎮まらぬ満州

天田・65年目の証言と新資料

ソ連の独裁者スターリンは、1週間足らずの日ソ戦によって莫大な利益を得た。満州や南樺太、千島列島を占領したのに

製鉄、製鋼、製紙工場や、炭鉱や発電所など、大型の機械設備にも及んだ。つまり、すべてを奪い去った。施設を撤去、解体し、スクラップ同然のまま輸送した。

痛みは感じなかった。周た一囲は年配の人ばかりで頼りに思え、不安のない日の日本ではなく、西の方を過ぎた。倉庫に山向だった。

ヒツジの毛刈りや糸紡ぎ楽しんで 29日にイベント多彩